

令和6年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月12日（水）13時～15時10分まで
- 2 開催場所 大平台小学校 会議室
- 3 出席委員 井嶋 吉廣、斉藤 良夫、内藤 明子、シム キュマン、今井 孝
稲葉 大輔、山内あけみ、幅 あけみ、田中 基生、伊藤 真弓
- 4 オブザーバー 徳増 宏之（入野協働センター館長）
- 5 学校支援コーディネーター 荻 哲也、今明 真理
- 6 学 校 戸嶋 秀樹（校長）、大澤真一郎（教頭）、竹内 由里子（教務主任）
尾白 栄子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 尾白 栄子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、今井委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11 参観会の感想

- ・教室の風通しがよく、気持ちいいが、窓側の生徒は風が当たりっぱなしになるので寒さや冷えを感じるのではないか。教室の様子を見て、先生の明るさで教室の空気感が違うと感じた。廊下は広いが教室はコンパクトなので、1クラス当たりの人数を減らして、先生の負担を減らす環境を作ることができたらとよいのと思う。特に5、6年生のクラスはパツパツで先生の負荷が多いと感じる。（田中委員）
- ・いつもに比べると保護者がいると子供たちが緊張していておとなしくしていた。騒がしい子や教室にいられない子もしっかり授業を受けていた。こういう機会も必要で大切に思う。参観会に来てほしい保護者が来ていないと感じた。（内藤委員）
- ・前は入学したばかりで落ち着かない様子だった1年生が、集中して授業を聞いていて、いい雰囲気を感じた。校長先生や担任の先生方のご尽力を感じる。高学年もとても落ち着いて授業に参加していた。（シム委員）

12 協議事項

今後の学習支援について

- 屋上庭園について
- 学習ボランティアについて
- 生活ボランティアについて
- 地域人材の活用について

13 会議記録

○屋上庭園について

- ・今後の計画や要望を聞いてから、助言、提案をしていきたい。ボランティアの集まりについても日程を決めて計画したいので、学校の担当の先生と活用計画を相談したい。また、大平台高校の先生と接点があるので、地域の方とも協力して取り組みたい。（荻コーディネーター）
- ・野菜や花作り、畑に精通した民生委員がいるので、声をかけたい。（内藤委員）

- ・ 屋上庭園は、授業の時に観察したり、スケッチしたり、また憩いの場となり定着している。再生した屋上庭園を子供たちが委員会活動として関わり、持続可能なものとしていきたい。

(戸嶋校長)

- ・ 庭園を野菜や花など区画をわけて、ボランティアの方と取り組みたい。

(荻コーディネーター)

- ・ 生き物の飼育が屋上庭園でできるようであれば、メダカがたくさんいるので提供したい。

(伊藤委員)

○学習ボランティアについて

- ・ 学習ボランティアが集まり、意見を出した。子供たちそれぞれ個々に対応した学習をしたい思いがある。ひらがなや計算力の向上、宿題+α、夏季休暇中は基礎学力の定着をさせたいと意見があった。ボランティアが無理なく、長く持続可能に取り組めるよう学校と調整して活動していきたい。夏季休暇中は勉強会を増やしたいので、ボランティアの増員のためのチラシの配付を検討している。

(今明コーディネーター)

- ・ 先日、学習ボランティアに参加し、読み聞かせや宿題の書き取りを支援した。参加しているボランティアは、どのようにどのくらいまでの支援をしたらいいか不安な中で進められている。支援の目的の共有と外国人や発達障害児童の個別の対応など学校と情報共有、話し合いをしていきたい。またどういう場にするか家庭への周知も必要と感じる。

(伊藤委員)

- ・ 宿題を家庭ではみてもらえない子供や宿題をやってこない子供のためにスタートした。夏休みまで活動していることはとてもありがたく思う。今後はボランティアと先生の考え方のすり合わせを目的に照らして行っていく必要がある。

(戸嶋校長)

- ・ 協働センターでは、ペルー語や中国語を母国語とする団体が独自に語学を教える活動をしている。遠方から来ている参加者もいる。

(徳増オブザーバー)

- ・ 浜松市が行っている学習支援ボランティアでは、だれが見てもわかるように一人ひとりにファイルがあり、その都度支援したことを書き込んでいる。

(内藤委員)

- ・ 学習ボランティアに参加し、親世代の算数との違いを感じた。教え方に事前に打ち合わせがあると迷いなく進められると思う。

(田中委員)

- ・ 低学年は、個別に見てあげられるが、高学年は自分で宿題に取り組むようにしている。

(今明コーディネーター)

- ・ 学校ごとにスタイルが違うが、その子に合わせた対応がベストに思う。年度初めの最初の段階で学校と共有できればと思う。

(稲葉委員)

- ・ 外国につながる子供の教育は担当の教諭が保護者とも関わりながら丁寧に行っている。

(戸嶋校長)

- ・ カトリック教会でもコロナ以前は外国の子供を集めた取り組みが行われていた。(稲葉委員)

- ・ 雄踏で、日本語支援のボランティア養成講座が行われている。浜松科学館で行われている日本語教室では大平台小の生徒も参加していて、楽しく学んでいる。外国籍の子供たちが自立できるようにサポートしている。国籍にかかわらず、家庭での子供のサポートが大切だと思う。ボランティアの熱心な思いと子供たちの支援や管理をつなげていくことは難しい。ボランティア養成講座に参加することもいい考えと思う。講座参加の申し込みは担当がいる。

(シム委員)

- ・入野小でも放課後ボランティアがスタートし、8名参加している。会話ができればいいというところから始めている。(徳増コーディネーター)
- ・ボランティアのみなさんあっての活動なので、学校と話す場を持ち続けていきたい。(戸嶋校長)

○生活ボランティアについて

- ・学校の活動の中で、給食の補助以外にも調理実習や家庭科のミシン、町探検などどうやって参加者を集めたらいいか検討している。給食の補助は学校でプリントを配付し募集をしたが、随時のやり取りが難しい。(今明コーディネーター)
- ・さくら連絡網でクラスごとや学年ごとに参加を募るのはどうか。(内藤委員)
- ・おやじの会のような大きなボランティアグループを作るのはどうか。(今井委員)
- ・ラインでの発信には、グループにすることでの弊害、金銭的なことなどもある。ラインとHPをつなげて発信するシステムもある。ボランティアの範囲での運用は難しい。ボランティアに参加できる人のリスト化ができるといい。プリントにQRコードの添付などの方法もある。(今明コーディネーター 田中委員、シム委員、伊藤委員)
- ・生徒の個別対応が増えているが、クラスの見守りができるようなボランティアの対応などはどうか。(戸嶋校長)
- ・校外学習のボランティアに参加した際、団体行動できない子供がいて、担任の先生一人では見守ることがとても大変だと感じた。(田中委員)
- ・校内でも同様の状況である。保護者の参加を依頼して、今年度も実施している。(戸嶋校長)
- ・以前に教室から出てしまう子供たちがいて、見学に行った際、よその人の目が入ることによって状況が改善することもあった。だれでもできることではないので、勉強会など事前の教育も必要ではないか。(内藤委員)
- ・地域の民生委員は、地域で育つ子供たちのこれからを大切に思っているの、いい方向に持っていきたい。地域でお手伝いできる人を見つけていきたい。(幅委員)
- ・教育委員会から要望してはどうか。課題に対して要求して、予算を取って解決できることもあるのでは。給食の配膳は、異学年の取り組みが日常からあってもよいと思う。(稲葉委員)
- ・外国につながる子供の支援は以前から取り組んでいる。外国人の取り出しなど小学校での支援が増えている。個別支援は専門的な知識がないと難しい。科学館では講師を招いた発達支援の養成講座を企画している。(教育委員会 鈴木さん)
- ・以前は地域の方がクラブ活動の講師をしていただいていたが、現在のクラブ活動は、異学年の交流を主としている。先日プロゴルファーが講師となったスナックゴルフのイベントがあり、子供たちのいい経験となった。子供たちがいろいろなことを経験し、興味関心をもち、前向きな取り組みができるのが学校で、そういう場になっていることが望ましいと思う。地域の人材によるイベントをお昼休みの時間を利用して行うというような取り組みがあるのもよいと思っている。(戸嶋校長)
- ・シニアクラブから4, 5人昔遊びなど子供たちと一緒にやっていたことがある。幼稚園での折り紙やわなげなども行っている。(山内委員)
- ・他校で、給食後のお昼休みに地域の方が来て、クリスマスカード作りを行った事例がある。(内藤委員)

14 学校支援コーディネーター研修報告

- ・ 浜松市の各学校の情報交換をして、大平台小は活発で活動的と感じた。浜松市ではいろいろな分野のプロの登録があり、講師として人材活用ができるので利用してみてもいいと思う。

(伊藤コーディネーター)

15 連絡事項

- ・ 6月から始まったペン習字やお茶の講座に参加があり、3月まで月1回開催される。年末に書道部の高校生を招いて書き初め講座を予定している。

(徳増オブザーバー)

16 次回議長の選出について

司会から次回の議長に内藤委員を推挙する旨の発言があり。全員意義なくこれを承認した。

今後の日程（予定）

第3回 学校運営協議会 7月24日（水） 9：00～11：00

第4回 学校運営協議会 12月16日（月） 10：00～12：00

第5回 学校運営協議会 2月 6日（木） 10：00～12：00